

和太鼓 迫力満点！

室蘭 聾学校生、高齢者に披露

室蘭市知利別町の介護老人保健施設「憩」で30日、室蘭聾学校の児童・生徒が和太鼓演奏を行った。迫力ある音を響かせ、お年寄りから大きな拍手を受けていた。

同校は授業の一環として全校を挙げ、和太鼓演奏に取り組んでいる。聴力が低くても、和太鼓の低音は感じる子供も多いという。高嶋利次郎校長は「チームワークをつく

ることができ、一般向けの演奏会を開くことで、子供たちの社会参加にもつながる」と話す。

この日は小学部4年生以上と中学部の計11人が出演した。そろいの紺色の法被に身を包み、息を合わせて函館巴太鼓がルーツの曲「プロローグ」を力強いばちさばきで披露。70人のお年寄りは目を細めて聞き入っていた。

演奏後、子供たちは自己紹介したり、握手するなどしてお年寄りとの交流を深めた。

(相沢宏)



力強いばちさばきで和太鼓を披露する室蘭聾学校の子供たち